

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2024（前期）日本語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
SNSコミュニケーション	鏡 征爾	最先端の話題を扱っているため、可能な限り学生が興味関心の抱ける具体的な事例を引きながら講義を展開した。 理解度に応じた柔軟な対応によって、学生の意欲を引き出すことに一定程度成功したと考える。 今後は、現状に満足することなく、これまで以上に学生が積極的に講義に参加できるよう工夫すると共に、さらに興味関心を抱けるように、深化・発展させたい。
ことばと生活	大塚 みさ	成長実感や意欲的な取り組みなどの数値が高く、みなさんの立派な学習姿勢に改めて感心しました。また、満足度も比較的高く、安堵しました。 自由記述では、身の回りのことばについての理解が深まったことや、「ことばは変化していくものだ」という気づきが得られたことなどが報告されました。授業で多く導入したグループワークや、（大変だったはずの）レポート課題も学びに結び付いたという意見があり、うれしく思いました。 今後の人生において、若者ことばやネーミング、やさしい日本語など、授業で触れたトピックにかかわる事象に触れる際に、授業での学びを思い出してもらえたら光栄です。
コミュニケーションと心理	大塚 みさ	成長実感や授業への真剣な取り組みが、よく伝わってきました。満足度も高く、安堵しました。 自由回答では、コミュニケーションについて多角的に学べた、コミュニケーションの際の相手の心理状態や自分の考え方を見直す機会になったという意見が多く寄せられました。授業はチームでのディスカッションを中心に進めましたが、自分と違う意見が得られる点などに加えて、相手の話を聞く力、協調性やコミュニケーション能力の向上などに触れた意見もあり、うれしく思いました。 授業で学んだことが、みなさんの今後の人生のどこかで役立てば光栄です。
ノンバーバルコミュニケーション論	西脇 智子	履修生が意欲的に授業に取り組み、授業に満足したことを大変嬉しく思います。また、説明のわかりやすさや教材のわかりやすさの項目で平均を上回っております結果を受け大変励みになりました。今後も工夫して取り組んで行ければと思います。
ビジネストーク演習	鹿島 千穂	再履修のクラスで受講生が少ない中、最後まで頑張って受講してくれたことを嬉しく思います。「授業を通して成長を実感できた」とのこと。ぜひ本授業で身につけた知識や技能を、他の授業や就職活動、日常生活のさまざまな場面で活かしてってください。
ビジネスマナー応用	佐藤 圭子	意欲的に学ぼうという姿勢が見受けられ、とてもスムーズに授業を進めることができました。1年次に学んだ内容を「知っている」から「できる」に移すことが目標の一つでしたが、多くの方がその力をつけられたと感じております。検定の上級にトライする方は、ご遠慮なくご相談ください。
ビジネスマネジメント	板倉 文彦	アンケート結果は、概ね平均値を上回る結果となっており、学生の皆さんの知識・スキル修得に役立ったと思われ一安心しました。 本科目は毎回比較的時間のかかる課題を課していましたが、真摯に取り組み、コメントからも課題を通して企業研究等のスキルが身に付いたとの意見が見られました。学生の皆さんの授業に対する積極姿勢がうかがえ嬉しく思います。 コメントからは、将来の社会人生活にも役立つとの意見を多くいただきましたので、今後も学んだことが将来生かせるよう意識して授業設計・実施に取り組みたいと思います。
ビジネスリテラシー入門	板倉 文彦	本科目は対象受講生・アンケート回答者ともに少なくなっています。 アンケート結果からは、ビジネスの場での知識・スキルが身に付いたとのコメントがあり、実感を持ってもらえたことは良かったと思います。 本科目は毎回課題を出していましたが、受講者は遅滞なく提出しており真面目に取り組んでいただけたことが結果につながったと思います。 今後も学生の皆さんに、良い実感を持っていただけるよう授業設計・実施に努めます。
ライティングスキルa	鹿島 千穂	全ての項目で平均を上回り、受講生のみなさんが本授業に満足していることを嬉しく思います。授業中も各自が熱心にライティングに取り組んでいましたし、出来上がった作品も立派なものばかりでした。本授業の開講がこれで最後になってしまうのは寂しい限りですが、ここでの学びを、ぜひ今後の人生に活かしてほしいと思います。
医療とコミュニケーション	西脇 智子	履修生が意欲的に授業に取り組み、授業に満足したことを大変嬉しく思います。また、説明のわかりやすさや教材のわかりやすさの項目で平均を上回っております結果を受け大変励みになりました。今後も工夫して取り組んで行ければと思います。
小説と戯曲の世界	高瀬 真理子	谷崎文学の面白さが十分に伝わったようで、安堵しました。 美の美とは言えないかもしれない危うさや危なさ、じんわり伝わったように手応えを感じています。
情報学への招待	橋口 静思	こちらが目的としていた、情報を生活や今後のために使うことを意識できたということが伝わっていたようです。これからも社会の中で情報学を意識してください。

【2024（前期）日本語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業研究 a	大塚 みさ	予習復習の時間、授業への真剣な取り組みなどの項目から、みなさんのしっかりと取り組んだ様子がよくわかりました。 やさしい日本語プロジェクトについては、理解が深まった、グループ活動を通してコミュニケーション力が身に付いたという声も多かった一方、そこに当てる時間が長かったのもっと研究に集中したいという声もありました。 発表時のresponアンケートについては他者の意見を聞けるメリットについての回答が多かった半面、時間がかかることや、同じような回答が多いといった指摘もありました。後期は1回辺りの発表者が3名に絞られる点で時間の余裕はできると思いますが、アンケート項目を絞り込むなどして改善を図りたいと思います。前期に導入できなかったレポート作成の復習を含めて、みなさんが卒業研究レポート作成を円滑に進められる授業にしていきたいと思います。
卒業研究 a	鹿島 千穂	全ての項目で平均を上回る評価であったことを嬉しく思います。特に「週末あたりの予習復習時間（レポート課題等を含む）」は平均を大幅に上回りました。みなさんが課題や発表準備に十分な時間を割いたことがみてとれます。この調子で、各自が納得のいく卒業研究レポートを執筆できるよう、後期も頑張っていきましょう！
卒業研究 a	板倉 文彦	評価結果は、概ね平均値を超えており学生の皆さんの期待にはある程度応えることが出来たと考えられます。 本授業はゼミ科目であり、前期はグループワーク及び発表の機会を多く設けました。評価コメントにもこれらを通して様々な力が身に付いたと記されており、学生の皆さんに積極的に取組んでいただけたことが伺えました。 後期はさらに提案力を加えていくことになるので、今後も学生の皆さんの期待に十分こたえられるよう授業設計・実施に取り組めます。
卒業研究 a	高瀬 真理子	多岐にわたる学生たちの研究領域をできるだけかなえるために、学生たちそれぞれの進度に合わせて、前期の目標まで持ち込んだので、多少シラバスからズレたところが出ましたが、なんとか中間発表までこぎ着けた人たちには、それなりの達成感があったのではないかと思います。 後期も、自分のペースでかまいませんけれども、なんとか、自分のレポートとして形になるよう、発展させてほしいと思っています。
日本文学の歴史 c 近代	高瀬 真理子	文学史ですから、結構面倒くさいところがあるのですが、きちんと食いついてきてくれたようです。 こちらもデータベースになっていない資料をみなさんへわかりやすく提示するのに苦労はしましたが、レポートを見てもその苦労はほどほどに報われていると感じました。
文学とコミュニケーション	高瀬 真理子	回答者数が少ないため全体的な把握はできませんが、こちらが伝えたかった面白さを十分に伝えきることができず、残念に思いました。ノウハウより心の向きというメッセージを伝えられるよう、改善を加えて行きたいと思います。